

統合小学校建設だより

第4号

郷土と共に自己を磨き 未来に向けて夢をかなえる人づくり



令和5年10月25日
川上村教育委員会

○川上村が目指す小中一貫校は「併設型小・中学校」です

はじめに、「小中一貫教育」という言葉についてご説明いたします。「小中一貫教育」は、義務教育9年間を連続した教育課程として捉え、児童生徒・学校・地域の実情等を踏まえた具体的な取組内容の質を高める教育のことです。したがって、「小中一貫教育」という言葉は、あくまでも一つの教育内容を指すものです。

これに対し、「小中一貫校」は以下の図のように分類されますが、川上村が目指す小中一貫校は、松本市立奈川小・中学校と同じ併設型小・中学校です。隣接した小学校と中学校が協働し、児童生徒・学校・地域の実情等を踏まえた川上村にふさわしい一貫した教育を実践します。

 <p>佐久穂中学校 佐久穂小学校</p> <p>佐久穂町立佐久穂小・中学校 (施設一体型小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none">・小学校に校長1人、中学校に校長1人が配置されます。・小学校の職員と中学校の職員は別々に学校ごとに教職員が組織されます。・小学校には小学校免許所持者、中学校には中学校免許所持者の教員が配置されます。・小学校6年間、中学校3年間の修業年限となります。	 <p>両小野中学校 両小野小学校</p> <p>両小野学園</p> <p>辰野町塩尻市組合立両小野小・中学校 (分離型小・中学校)</p>	 <p>奈川中学校 奈川小学校</p> <p>松本市立奈川小・中学校 (併設型小・中学校)</p>	 <p>信濃町立信濃小中学校 (義務教育学校)</p> <ul style="list-style-type: none">・義務教育学校に校長1人が配置されます。・教員は原則小・中両方の免許を所持し一つの教職員組織となります。・修業年限は9年間です。
--	---	--	---

○統合小学校で期待される教育は？

- ・フリースペースやふれあいホールなどが設置され、安全性と安心感を兼ね備えた空間的に余裕のある学校となり、子どもたちが一日を通して快適な学校生活を送れるようになります。また、障がいのある子や心の安定が必要な子に対応するためのバリアフリーやクールダウンのスペースなどに配慮した学校になります。
- ・統合小学校は中学校に併設されるので、小学校、中学校の教職員が協働し、例えば、中学校の国語や数学の専科教員が単元を限定して小学校5・6年生の授業を担当するなど、小学校の教科担任制などを踏まえた教育内容の充実などが図られます。また、主体的な学び・対話的な学び・深い学びを創造するために、ICT（情報通信技術）の環境整備や開放的な図書館の設置も含め、校舎の各所で多様な学習活動が展開できる学校になります。
- ・校舎内外に児童の様々な交流の場を設け、友だち関係づくりを高めながら楽しく活動的に過ごし、情操を育み創造的で個性豊かな子どもを育てる学校を目指していきます。また、児童が渡り廊下などを介して中学校と自由に行き来することで、互いの交流を通して中学生をより身近に感じ、自分の中学校生活をイメージするなど、自己を高めることにつながります。
- ・中学校とも連携し、信州型コミュニティスクールを主軸として地域の教育力をさらに生かし、学校の特色や魅力をさらに高めることを目指します。地域の方々にとっても親しみが持て多様な利用が可能となるように考えていきます。
- ・災害に対して安全・安心を確保できる強い施設となり、体育館に併設して家庭科室を配置するなど、一時的な地域の避難所としての防災拠点となります。

施設紹介 「ふれあいホール」 ～小学生同士、小学生と中学生、幸せ感が満ち溢れる空間に！～



様々な活動が考えられます



※小と小、小と中の友だち関係づくりを推進する企画を検討中！